

消防団広報



第三十号 二〇十四年三月
編集・発行
桑名市大字江場七番地
桑名市消防団 企画情報部会



伊藤徳宇市長を観閲者に迎
え、消防団・消防署・自衛消
防隊・津田桑名幼稚園参加に
て出初式が挙行されました。
徒歩部隊・車両部隊による分
列行進が行われ、園児が消防
団車両に同乗し観閲を受けま
した。

一月十二日



式典では団員として貢献された方々に各章の表彰や、園児による演奏も行われました。式典終了後長良川左岸に移動しポンプ車両三十台による一斉放水が行われました。

内閣総理大臣表彰

柴田清勝団長 受賞

十一月二十五日

消防団百二十年・自治体消防六十五周年記念大会において受賞されました。消防団員として多年にわたり消防業務に従事し、広く地域消防のリーダーとして、地域社会の安全確保、防災思想の普及、消防施設の整備その他の災害の防ぎよに関する対策の実施について尽力し、その功績が特に顕著な方に送られる賞で、今大会では全国で十五名が受賞されました。



出初式での柴田団長

年末警戒

十二月二十八日～三十日

寒さも一段と厳しくなり小雪の舞う年末、特別警戒を実施



各方面団の訓練

長島方面団

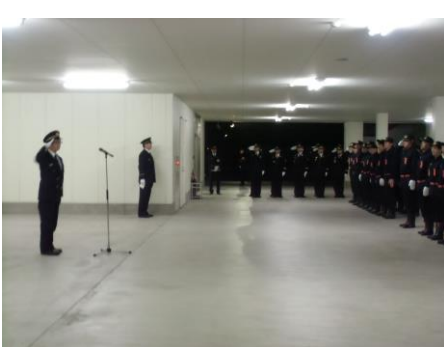
行進等訓練及び親睦ソフトボール大会

九月二十九日

長島防災コミュニティセンターにて、部隊の団結力、規律、士気及び協同動作を向上し、正確で軽快な部隊行動を訓練するとともに指揮者の指揮能力の向上を図ることを目的に、大隊単位の行進を中心とした規律訓練を実施しました。



市長巡視
長島防災コミュニティセンター
ター他五箇所にて



施しました。二十八日には伊藤徳宇市長による巡視が市内六箇所にて行われ激励の言葉を頂きました。夜8時より地域巡回、詰所待機を各分団にて行いました。

訓練は、方面団長、副団長、分団長の指導のもと、行進時の腕のふり角度、隊員間の距離、横列の歩調などを確認しながら、意見交換を交えつつ行われました。今まで気づかなかった悪い点を各大隊で指摘しあったことにより、基礎的な動作の反省から修得に繋がったと思います。

また、訓練終了後には長島運動公園に場所を移し、長島方面団恒例の親睦ソフトボール大会が開催されました。汗ばむ陽気の中、一球一球、一打一打に声援と野次が飛び交い、少ないファインプレーと大半のエラーで、打率一割から九割という白熱した試合が繰り広げられました。方面団長から各分団員までが同じ汗をかくことにより、大いに親睦を深めることができたかと思えます。栄えある優勝に輝いたのは機動分団B、準優勝は惜しくも連覇を逃した第一分団、三位は機動分団Aとなりました。

こうした訓練や親睦行事を通じて、知識と技能の向上を図るとともに分団の枠を超えた団員の結束力を高め、今後

も消防団の活動に励みたいと思います。



多度方面団

競練会

十一月十日

多度町総合支所駐車場において、消防競練会が行われました。

この訓練は、火災現場で必要な消防技術の基本であるポンプの運用、ホースの延長及び放水までの迅速性と消防資器材の取り扱いの正確性を競うことにより、消防技術の向上と知識の習得を図るものです。



一チーム五人編成で、合計二十チームが参加しました。訓練当日は、悪天候にもかかわらず、日頃の練習の成果を発揮する良い機会というところもあり、熱のこもった競技が展開されました。

今後、基本を大切にという気持ち忘れず、訓練から緊張感を持って、消防団活動に取り組んでいきたいと思えます。

結果は次のとおりです。

優勝	第四分団一・二班
準優勝	第五分団一班
第三位	第一分団四班

桑名方面団

競練会

十一月十七日

ポンプ車操法としては、今回で二回目となります。競練会が開催されました。

基本動作の繰り返し、反復練習を二カ月弱の間、更に磨きをかけ、全十四分団の想いをそれぞれ抱きつつ、目指すは一番。出場選手の年齢、経験は違っても気迫は一緒。この分団よりもより早く正確に、そして安全に訓練の成果をこの一瞬に。ホースを伸ばし、消火用筒先を担ぎ配置につき、消防車両配置の機関員から送られてきた水を第一線標的、第二線標的に向かって放水します。

こうした訓練は、結果も励みになりますが、それ以外に目標を掲げそれに向かって、チームとそれを支える分団の仲間の絆をより強くすることにつながり、そうした連携がいざ災害となったときより大きな力となって地域の皆様のお役にたてるものと信じています。

結果は次のとおりです。



優勝 第十二分団
準優勝 第十三分団浜
三位 第十三分団安永

時間とともに東日本大震災の記憶から離れつつあり、緊張感も日々薄れていきます。そんな中、台風三十号がフィリピンを襲いました。まさに災害とは、いつ私たちの身に降りかかるのか分かりません。フィリピン災害は、東日本大震災を思い出し、また不安に感じた方も多いのではないのでしょうか。また昨年は、台風の多い年でもありました。

私たち消防団員も日々の訓練を通して、そうした事案に対応すべく励んでいます。

自主防災訓練



今年度も、桑名市内の小学校（十ヶ所）にて開催され、沢山の住民の方々に参加していただきました。十一月十七日には、伊曽島小学校で、各自治会・団体を始め約四百五十名が参加した長島伊曽島地区自主防災訓練がおこなわれました。倒壊家屋救出訓練・応急救護訓練・煙体験・校舎屋上避難訓練があり、各班に分かれ体験していただきました。

倒壊家屋救出訓練ではジャッキを使い負傷者を救出する



訓練を行いました。応急救護訓練では、応急処置・搬送方法について身近にあるものを活用しておこなう方法を体験していただきました。



また、煙体験ハウスにより濃煙体験をおこない団員の説

明に真剣に耳を傾ける人や「貴重な体験ができました」と言われる避難者がいました。訓練を通していかに多くの避難者を迅速に誘導するのが困難であるかを学び、今後有事の際に備え繰り返し継続して訓練をおこなうことが必要ではないかと思いました。

また、関係機関相互の協力体制をより強固なものとする

長島方面団
町民体育大会リレー参加

十月十三日

長島町河川敷グラウンドで町民体育大会が行われました。

今年には五十周年記念大会ということで、消防団によるリレーが復活し第一～五分団・機動分団の計六チームが参加しました。各分団六名が、筒先をバトン代わりに繋ぐというものです。

第四分団が第一走者からトップを守り続け見事優勝しました。

今後とも通常の消防団活動は当然ですが、このような地域

の行事にも積極的に参加していければ良いと思います。



竣工式

車庫兼詰所 新設

十一月二日

久米地区を管轄している桑名方面団第十二分団詰所が、高速道路関連施設整備対策事業の障害となる関係で建て替えられ、それを記念しまして竣工式が行われました。自治会関係者様、市議会議員様、関係機関の皆様のご臨席を賜り、テープカットや施設の説明、見学などを行いました。



この車庫兼詰所は、鉄骨二階建てで、一階に消防車庫、二階に消防団員詰所が整備されています。今後は、活動拠点として、「安全・安心なまちづくり」を目指し、地域住民の防災活動の推進に貢献できるように、全力を挙げて取り組んでまいります。





◇◇◇◇ 特集：災害用トイレ ◇◇◇◇



災害時のトイレを考えましょう



「排泄」は、誰も避けては通れない問題ですが、災害時には断水や浸水でトイレが使えなくなることもあります。どうすれば良いのでしょうか？



経験者に、お話を聞きました



石巻市で東日本大震災を経験された方から、お話を聞く機会がありましたので紹介します。

■地震発生時の状況は、いかがでしたか？

地震発生と共にライフラインは全てストップしてしまいました。

自宅は、やや内陸にあるのですが、津波による浸水は台所のテーブル面にまで及びました。平屋建てでしたので、余震が続く中を、布団、毛布、食料、水などの必要な物は屋根裏に上げました。

■トイレはどうされましたか？

翌日の朝からの問題になります。

家の中の水位は、前日と変わらず、トイレが使えないため、暖を取るために屋根裏に上げておいた新聞紙と、レジ袋、ゴミ袋などのビニール袋を使いました。

袋を2枚重ね、中に新聞紙を何枚か敷きます。しゃがんで両手で袋の端を持って用を足し、済んだら固く縛ります。大も小も同じ方法です。



■排泄物を入れた袋はどう処理するのですか？



この袋の処分には、冷凍食品などを入れる40～50センチぐらいのフタ付き発泡スチロールの箱を使います。魚を入れるものより小さい、潮干狩りで持帰りに使うような紐付きのものがよいです。

この小さめの箱がフタの気密性が良く、匂いも出ません。家族4人の4～5日分なら大丈夫です。大きい発泡スチロール箱だとたくさん入り過ぎてその後の処分が大変です。

箱が一杯になったら、袋を少しずつ他のゴミと混ぜて出しますが、しばらくはゴミを出す事もできないので、密閉できるスチロールの箱は重要です。

■他にもアドバイスがあればお願いします

我が家の場合は、自宅でしたので、人目は避けられましたが、避難所などの場合は、ダンボールなどで目隠しを作るのが大事でしょう。

水をあまり飲まないで過ごしたりして、トイレを我慢する人もいますが、つらいですし、即、体調不良になります。

地震発生からしばらく、食生活が不安定で、便秘が続いたりしますので、胃腸薬も常備しておいた方がよいです。



みんなで準備しておきましょう



実は、トイレは災害時の最初の切実な問題なので、普段からみんなで話しておく事はとても大切だと思います。今は排泄処理グッズもたくさんあるので、家族でホームセンターなどに行くのも良いと思います。

協力：宮城県石巻市 佐藤秀博さん 編集文責：企画情報部 内藤誠一郎

知らないふり しているあなた 共犯者

女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。

桑名市女性消防団 **検索** ←クリック！



手作り防災グッズの数々

ペール缶にフタをつけて
非常用トイレ



今号5頁のように、ビニール袋と新聞紙等を排泄物受けにして使います。普段は椅子や物入れとしても使えますよ。



ツナ缶を使って
ほのぼののあかり



こよりをツナ缶の油に浸して、明かりにします。
(こよりが缶に当たらないように要注意)
油がなくなれば温かいツナが食べられますよ。

かんたん手作りランプ
ほのぼののあかり



ティッシュで作ったこよりを、アルミホイルでビンやコップの口に固定します。
ビンが倒れても炎は中に残るので安全です。
燃料はサラダ油です。



女性消防団

平成26年春



12月28～30日
年末警戒



年末の3日間、市内を火災予防の巡回広報します。各地の分団の陣中見舞いにも伺いました。

1月12日
消防出初め式



長島の輪中ドームにて



10月30日
女性消防団全国大会



今年度は岐阜県高山市で開催されました。展示が今回も好評でした。平成26年度の会場は、千葉県のディズニーリゾートにある舞浜アンフィシアターです。

私達と一緒に活動しましょう!!
女性の優しさ・細やかな配慮を生かした活動が
地域のため・住民のために役立ちます。

お問い合わせ先 桑名市消防本部 総務課 TEL24-5274

